

令和6年度「データサイエンス入門」自己点検・評価

長崎県立大学全学教務委員会／データサイエンス教育専門部会

自己点検の視点	令和6年度自己点検
プログラムの履修・修得状況	令和6年における本プログラム科目「データサイエンス入門」の履修者は787名であった。一部学科で担当者の変更もあったが、過去2年間の実施状況を参照しつつ滞りなく各学科において授業を実施した。最終的な修得者は719名であり、9割を超える修得となったものの、過去2年間と比して91.4%とやや修得率が低下している（R4：94.3%、R5：95.1%）。
学修成果	各授業回の確認テストの運用については過去2年間を踏襲し繰り返し取り組むことを奨励した。期末テストの全体平均は前年度とほぼ同スコアとなる94.6点であり、引き続き高い水準を維持している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	授業評価アンケート回答者のうち、到達目標を「大いに達成できた」又は「ほぼ達成できた」と回答した学生の割合は85.1%、身についたと思う力として「情報技術（ICT）運用力」を選択した学生の割合は63.2%であり、いずれも昨年度をやや上回る割合となっているものの、学科により多少のバラつきが見られる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	授業評価アンケートにおいて「この科目を他者に薦めたいと思うか」という項目に対し「薦める」又は「やや薦める」と回答した学生の割合は、回答者のうち92.1%であった。前年度の95.8%からやや低下したものの、依然として9割以上の高い割合を維持している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	全学科において必修科目となっているため、休学等の理由がある場合を除き令和6年度入学者全員が受講した。2年生以上の再履修者は45名、うち29名が今年度単位を修得した。
令和6年度自己点検に対する評価	全学科必修科目とした令和4年度以降の受講者数は累積で2,336名となり、令和6年度在学者の約76%に達するなど順調に推移しているが、修得率が今年度やや低下したことは課題であるとする。特に再履修者の受講数が増えているものの修得率が65%程度に留まっており、各学科において個々の受講の状況などにも十分留意しつつ取りこぼしのないよう進めていく必要がある。